

感染症内科がおすすめする初期臨床研修プラン

<診療科説明>

感染症とは微生物によって惹起される疾患です。感染症内科医は微生物に関する専門的な観点から感染症の診断、検査、治療を行う医師です。その対象は肺炎、尿路感染症、腹腔内感染症などの一般感染症のみならず、新型コロナウイルス感染症、HIV、人獣共通感染症、輸入感染症など幅広く対応します。また、感染症はあらゆる臓器に起こります。よって、臓器に偏らずに臓器横断的に診療を行います。時に原因がはっきりしない発熱患者等のコンサルテーションも担い、発熱患者の診断についても寄与する場面もあります。感染症内科医は診療だけではなく、「予防」という重要な役割も担います。病院内での感染伝播を防ぐべく、感染制御チーム（ICT）に所属して感染対策を担ったり、ワクチン外来なども担当します。市中におけるアウトブレイクやパンデミックに対して行政と連携するなど、公衆衛生分野でも専門家の立場で参画します。感染症内科医は微生物というマイクロから、公衆衛生における施策などマクロな分野まで幅広い活躍が期待されます。

感染症内科を志望する研修医には、まずは感染症に限らず「内科医」になることを目指して研修いただきます。よって、初期研修では内科系、外科系幅広い分野を経験し、診断、検査、治療、患者のマネジメントなど医師としての基本をしっかりと学んでいただくことが重要です。その上で、感染症内科にて臨床微生物、感染症診療の基本理論を学び、実臨床で実践していただきます。

感染症内科は4週間から選択可能です。感染症内科医志望でなくても個々のキャリアプランに合わせた研修が可能です。また、感染症内科医は北海道ではまだ稀有ですが、今後ニーズが高まることは必至です。診療スタイルの特性から様々な働き方が可能と考えます。将来的に個人のライフスタイルに合わせた働き方を検討できる診療科の1つと考えますので、興味のある方はご相談ください。

1. 研修病院の選択

感染症内科を標榜する病院は非常に少ないですが、まずは医師として診療能力を幅広く身に付けることが重要です。感染症内科にこだわらず、いずれの協力型研修病院、研修協力施設で研修いただいても構いません。

2. 感染症内科医になるために研修が望ましい診療科

感染症内科では「どのような患者の、どの臓器に、どんな微生物が感染症を起こしているのか」というフレーズを基に診療を行っています。患者背景を把握し、どのような感染症が起こっているのかを診断する力が不可欠です。特定の臓器に偏らず、全身を診る能力が重要であり、まずは感染症に限らず「内科医」になることを目指してください。よって、総合診療科をはじめ、内科系の診療科を幅広く研修いただくことをおすすめします。また、重症感染症に対する全身管理の研修として救急やICUでの研修は非常に有意義です。さらに、感染症診療において微生物の知識は欠かせません。札幌医科大学附属病院では感染症内科または臨床検査の研修において微生物検査室の研修が可能です。大学病院ならではの貴重な研修機会ですので、是非選択してください。

3. コース選択

Aコース： まずはしっかり理論から学びたい方向けのコース

まずは診察、診断、微生物、抗菌薬など感染症診療の基本理論を学び、2年次に実践することを目指すコースです。

1年次 大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 内科 (総合診療)		必修 内科 (呼吸器)		必修 内科 (消化器)		必修 外科 (消化器)	必修 救急・ICU		選択 内科 (感染症)			
2年次 協力型研修病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 精神科	必修 産婦人科	必修 小児科	必修 救急		必修 地域医療	選択 内科(循環器, 血液など) / 外科(皮膚科, 整形外科など)						

Bコース： まずは common disease の診療の基本を身に付けたい方向けのコース

まずは common disease を診断、診療する力を身に付け、2年次に専門性の高い研修を目指すコースです。

1年次 協力型研修病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 内科 (循環器, 呼吸器, 消化器, 血液など)						必修 外科 (消化器など)		必修 救急・ICU		必修 産婦人科	必修 小児科	必修 精神科
2年次 大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
選択 内科 (総合診療)		必修 一般外来	必修 地域医療	選択 内科 (感染症)				必修 救急		選択 外科系		

Cコース： 理論をしっかり学び、専門性の高い研修を目指す方向けのコース

大学病院で診察、診断、微生物、抗菌薬など感染症診療の基本理論を学び、専門性の高い、複雑な病態の患者における感染症に対応できる力を身に付けることを目指すコースです。

1年次 大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 内科 (総合診療)		必修 内科 (呼吸器)		必修 内科 (消化器)		必修 外科 (消化器など)		必修 救急		選択 内科 (感染症)		
2年次 大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
選択 内科 (感染症)	必修 産婦人科	必修 小児科	必修 精神科	必修 地域医療	必修 救急		選択 内科(腫瘍, 血液, 免疫など) 外科(皮膚科, 整形外科など)				選択 内科 (感染症)	

※協力型研修病院や研修協力施設での研修を組み込むことも可能